

■研究・実践の課題（テーマ）

蒲郡市小児生活習慣病対策推進事業の展開

■主任研究者 塚原丘美

■共同研究者 立花詠子

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

【目的】

健康寿命の延伸と生活習慣病を予防し、すべての人が生涯を通じて健康で暮らし、医療費の抑制につなげるためには、子どもの頃からの生活習慣病予防が必要である。そのためには、望ましい生活習慣の行動感覚を子供の時期に身に着けること、また、家族単位での生活習慣病予防として親世代へ働きかけることで、将来の生活習慣病発症を予防でき、将来の医療費の抑制に繋げられる事も可能になる。そのために、現在蒲郡市で実施している学校健診の結果から小児生活習慣病に関する実態を把握・分析する。この結果を基に、学校や保健機関等の関係機関が連携して取り組む体制を整備し、健診結果を生かした健康づくりの推進に取り組むことを目的とする。

【方法】

蒲郡市が所有する身体計測値および血液検査値の結果、および同時に実施した生活習慣のアンケート結果を用いて身体計測値、および血液検査値の解析・検討をした。

【結果・まとめ】

市の結果を用いて解析を行ったところ、いくつかの項目で問題点が見つかった。

この項目になった原因などについては、今後の検討課題である。

この解析結果については、市の委員会で報告を行った。

また、対象者向けの食事や栄養に関するリーフレット、および啓発動画を作成した。